

鉄道ピクトリアル

1969年 11月号 Vol. 19 No. 11

<特集> 西武鉄道

波瀾に富んだ創業期をもつ西武鉄道は、多彩な車種、独特の車両管理方針とともに従来多くのファンを引きつけるものがあったが、今回秩父線を開発するおよんで、その魅力は頂点に達したといえる。ここに特集を送るゆえんである。

■表紙 「レッドアローちちぶ号」	編集部 撮影
■カラー頁 「E851形」	編集部 撮影
■グラフ	
<西武鉄道特集>	
秩父特急5000系試運転	西武鉄道 11
5000系	西武鉄道・馬橋昌雄 12
武蔵野鉄道の電車	高田隆雄・青木栄一・吉川文夫・丸森茂男・西武鉄道 14
西武鉄道の現有電車	宮沢元和・清水正一・堀江光雄・西武鉄道 16
E851形登場	西武鉄道 18
西武鉄道の蒸気機関車	細江正章・西武鉄道 44
西武鉄道の電気機関車	吉川文夫・丸森茂男・宮沢元和・西武鉄道 46
西武鉄道の路線をいく	宮沢元和・長島秀介・西武鉄道 48
薄暮の秩父新線(2頁大・解説82頁)	編集部 50
元西武鉄道の車両	吉川文夫・白土貞夫・小倉文夫・中川浩一・青木栄一・加藤久爾夫 54

すすき路(第14回鉄道写真コンクール作品)	小島好人・青木一郎 43
D F 50王国	西野保行 52
花巻電鉄鉄線廃止	原口誠一・小松久人 58
トピックフォト (北海道・東北・関東・中部・関西・四国・九州だより)	83

■本文	
<西武鉄道特集>	
西武鉄道株式会社	西武鉄道企画室 4
西武鉄道の系譜	中川 浩一 19
西武秩父線の開通と輸送計画	山口俊夫・渡辺重雄 24
西武鉄道5000形電車概説	曾我憲明 27
西武鉄道新製電気機関車概説	尾崎昇司・條田勝 30
西武鉄道の保安対策について	川田穰助 33
全国で働く元西武鉄道の車両[上]	吉川 文夫 37
秩父特急電車乗記	荒川 源一 41
中武馬車鉄道	今城 光英 63
私鉄車両めぐり[80]「西武鉄道」[1]	今城光英・加藤新一・酒井英夫 67

今月の話題・国鉄に新高速電車登場	編集部 3
書評[60]「歴史の中の東京駅ものがたり」	和久田康雄 32
質問に答える	42
大韓民国鉄道の現況[3]	大久保邦彦 59
私鉄車両めぐり[79]「西日本鉄道」[6]	谷口 良忠 74
車両の動き	80
鉄道の話題	82
9月のメモ帳	91
読者短信	92
TTKだより・後部車から	95



国鉄に新高速電車登場

9月号本欄で実現まぢかを伝えた国鉄の新高速電車が、早くも設計を完成し近く発注、早ければ来年3月には試作車M₁+M₂+M₃ 3両1編成が登場、十余年にわたって電車界に革命児として活躍した「こだま」型特急電車にとって代ることになった。

この高速電車は在来車にない二つの大きい特徴をもっている。その一是台車構造を振子式とし、曲線通過制限速度を従来よりも20キロ引きあげたこと、他の一是、直流1,500Vと交流20,000Vの50・60ヘルツ両用に使える「3電気方式」を採用し、国鉄の電化区間ならどの線区にも投入できるという画期的な電車としたことである。

これらの中最大特徴は台車で、昨年開発したTR96形に改良を加え、横圧軽減装置付の振子装置を採用、曲線通過の安定性をはかったこと、車体をアルミ合金製とし、連結部分に台車を跨らせる連節台車としたこと、台車の振動でパンタグラフが架線からはずれるのを防ぐため、油圧で車体が一定の位置を保つ構造となっていることなどである。

車体長はM₁M₃が16.6m、M₂が10m、全長44.7m、定員は48+24+48=120、重量は9.0tと軽量化されたので、軸重は11.3tとなり、高速性が持たれている。そして性能は1時間定格出力880kW、同引張力3,840kg、最高速度130キロとなっている。

この電車は、山陽新幹線新大阪一岡山間の開業予定に合せて大規模なダイヤ改正が予想される47年4月に在来線の主要線区に投入の予定で量産が企画されている。

[表紙] 「レッドアローちちぶ号」
編集部 撮影
5000系第2編成 小手指区 '69.9.25
マミヤC220 絞り16 1/60 エクタクローム

[カラー頁] 「E851形」
編集部 撮影
E851 小手指区 '69.9.25
マミヤC220 絞り16 1/60 エクタクローム
TETSUDOTOSHO KANKOKAI
New Kokusai Bldg. Marunouchi
3-4, Chiyodaku, Tokyo/Japan